

2024年5月18日

一般社団法人日本臨床発達心理士会群馬支部 2024年度活動計画

【活動目標】

地域に根ざした新しい発達支援・心理支援

【基本方針】

2023年度は「一般社団法人日本臨床発達心理士会群馬支部」として活動を始めました。これまでも新しい支部でも一貫して「ぐんま」という地域に根ざした地道な発達支援・心理支援を目指し活動していきます。

一般県民向けの公開研修会などを通じ、県内でもある程度認知され、一定の地位を確保しつつあると考えています。新しい法人の支部としても、これまでの活動を踏襲し、より一層活性化すべく取り組んで参ります。

コロナウィルスへの対応は大きな転換期にあり、社会全体の心理支援に関してもむしろこれからが本当に必要とされる時期なのかもしれません。また、国連の障害者権利委員会から出された日本の特別支援教育システムへの要請は大きな反響を呼んでいます。様々な場で、真のインクルーシブな教育とは何かを問い直す機運が高まっていると感じています。インクルーシブ教育システムは単に「学校教育」に限った問題ではなく、心理士として大きな視点から考えていくことも必要でしょう。

そのような社会情勢の変化の中、臨床発達心理士の活動をより主体的なものにすることを目指して新たに法人格を取得しました。単に名称が変わっただけでなく、社会の中でより積極的に役割を担うことが期待され、個々の会員の専門性の向上を目指す職能団体として、益々充実した活動が求められています。新しい群馬支部としても、「ぐんま」という地域に根ざした地道な発達支援・心理支援を目指し活動します。

2023年度は、十分な感染防止策を取りながら対面での研修会を企画・実施しました。2024年度も、対面での研修で学びを深めていきたいと思えます。加えて、法人化したことも踏まえ、社会的なアピールをどう進めるかなど、検討していくことも必要です。群馬支部らしい、地域に根差した活動を模索していきたいと考えています。

より充実した活動に向けて、多くの支部会員の方の力をお借りしながら、群馬支部の活動を活性化させていきたいと考えます。基本は、個々の会員がそれぞれの場で力を発揮することだと考えています。そして、その力を集めることで支部活動が豊かになっていくことを目指したいと考えます。

今後とも、支部活動へのご協力をよろしく願います。

1, 地域重視の研修会の企画・開催

① 総会・資格更新研修会

【総 会】

日 時：5月18日(土) 13:00～

会 場：共愛学園前橋国際大学 短期大学部 501号室

【資格更新研修会】

日 時：5月18日(土) 13:30～16:45

会 場：共愛学園前橋国際大学 短期大学部 501号室

テーマ：「保育現場での多職種連携～就学にむけて～」

基調講演：田中 真琴氏(前橋市清里保育所)

シンポジスト：清水 彩香氏(群馬県発達障害者支援センター)

：境野 健治氏(社会福祉法人 つくし園)

：秦 直子氏(前橋市幼児教育センター)

② アセスメントに関する研修会

日 時：10月26日(土)

場 所：共愛学園前橋国際大学短期大学部 501号室他

テーマ：「検査所見の書き方・伝え方」

講 義：竹淵 香織氏(聖学院大学)

ファシリテーター：亀田良一氏

：上原篤彦氏(共愛学園前橋国際大学短期大学部教授)

会 費：群馬支部会員・準会員 1000円

定 員：50名

参加対象：群馬支部会員・準会員

2, 臨床発達心理士の存在のアピール

これまでの活動を通じ、群馬県内において一定の知名度を得てきているものの、まだ十分とはいえません。社会状況をにらみつつ「一般公開研修会」についても、再開に向け検討を開始したいと思います。

また、新たに「準会員・賛助会員」という制度もでき、支部としての取扱い等も検討を進めていく必要があります。ちなみに、「準会員」とは今後資格取得を考えている方を、「賛助会員」とは心理士会(支部)の活動に賛同していただいた機関等を想定しています。そのため、研修会以外の広報活動にも力を入れていきたいと考えています。さまざまな他機関との連携などを通じ、多くの方々に「臨床発達心理士」の存在を知っていただく機会を作ります。

まずは、個々の会員がそれぞれの臨床現場で地道な支援を続けていくことが、重要な広報活動の一步と考え、会員の研修・研鑽・情報交換の場として支部活動を行います。

3、スピーディーな情報提供

支部の活動については、NLでの情報提供に努めていきます。

研修会や講演会の参加者からお寄せいただく感想等もタイミングよく配信していきます。

会員の皆さんからも、支部会員に知らせたい情報があればお寄せください。

以上